

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもひろばボーボーの木みなが				公表日	令和7年12月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9名	1名	遊ぶ部屋、活動する部屋、クールダウンをする部屋等、状況に応じて有効に使用しています。	部屋数が多くあるため、見守りを行いやすいように工夫する必要があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7名	3名	職員配置は適切に行っています。	利用者数に応じて、職員を調整していくことができるよう検討します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6名	4名	一日のスケジュール表や荷物置き場、送りの送迎について等、わかりやすいよう提示しています。	各部屋の用途が分かりにくい部分もあるため、何を各部屋か等、整理していきます。バリアフリー化ができていない部分もあるため検討します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7名	3名	清潔に心地よく過ごして頂けるよう、職員で分担し、掃除をしています。	トイレが汚く感じる時がある為、細かい部分も確認し、清潔を保てるよう努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10名	0名	クールダウンできる部屋や課題をする部屋、活動する部屋等、用途に応じて使用できるよう準備をしています。	引き続き、子ども達が使用しやすいよう環境を整備し、改善できる部分は随時検討していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4名	6名		毎日ミーティングを行い、振り返り等行っていますが参加できていない職員も情報を共有しやすいよう検討していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3名	7名	毎年、自己評価表を用いて保護者様に記入して頂き、業務改善につなげています。	頂いた意見をできる限り改善に向け検討し、臨機応変に対応できる体制を整えることができるよう努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5名	5名	ミーティング時やその都度、気になる事があれば情報を共有できる体制を整えています。	引き続き、全職員が意見交換ができるよう努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2名	8名	現在、第三者による外部評価は行っていません。	今後の課題とします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5名	5名	外部研修（オンライン含む）、社内研修の機会を設けています。いつでも資料を確認できるようファイリングし、参加が難しい職員に対して議事録を準備する等、把握できるようにしています。	社内で年間研修計画を作成し、取り組んでいます。特に重要な研修に関しては繰り返し行うことで意識を深めることができるようにしています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3名	7名	支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3名	7名	相談支援員との連携や契約時にアセスメントシートを用いて確認し、作成しています。	常に新しい情報を共有できるよう努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2名	8名	職員の意見も聞きながら作成しています。	当日ミーティングに参加することが難しい職員は、後日意見交換をしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3名	7名	いつでも確認できるようファイリングしています。	活動等、支援する職員に偏りがないよう全職員で取り組んでいく体制を整えます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3名	7名	契約時にフェイスシート、アセスメントシートを使用しています。また日々、利用者の方の状況等、療育日誌で記録し確認できるようにしています。	随時、最新の情報を把握できるよう見直しを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1名	9名	事前に保護者の方にアセスメントシートを記入して頂き、5領域に則した支援内容を提供できるようにしています。	保護者様、ご利用者様のニーズに沿った支援を提供できるよう努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0名	10名		一部の職員ではなく、全職員で活動案を考え、作成していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4名	6名		活動案を月ごとに担当制にする等、固定化しないよう工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2名	8名	個別活動、集団活動を組み合わせています。	全職員が計画内容を確認しやすいよう工夫し、意見交換につなげていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3名	7名	毎朝ミーティングを行い、確認しています。	ミーティングに参加できない職員へは口頭で伝えていますが伝え方に関して検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2名	8名		支援終了時に全職員でミーティングを行うことは難しい為、必ず翌日、情報共有をして対応策等を伝えていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3名	7名	療育日誌やヒヤリハット等、記載し、検証や改善につなげています。	随時、最新の情報を把握できるよう見直しを行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0名	10名	定期的にモニタリングを行っています。各利用者様の現況を職員間で意見を出し合いながら見直しを行っています。	ミーティングに参加できない職員へは口頭で確認していますが、事前に書面に記載する等、情報共有のやり方を検討していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1名	9名	社内研修も行い、ガイドラインに則して支援を行えるよう努めています。	全職員がガイドラインを周知して支援を提供できるよう理解を深めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2名	8名	おやつや遊び、活動等、色々なことに関して、自己選択を行う場を設けています。	一人一人が自分の思いを出せるような対応を行えるよう努めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2名	8名	会議には児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0名	10名	各機関と連携をとれる体制を整えています。	連携体制が途切れないよう維持していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4名	6名	学校迎えの際に担任の先生と情報共有を行っています。何かあれば連絡できる体制を整えています。	引く続き、連絡体制を維持し、連携ができるように努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0名	10名	相談支援員やご家庭を通じて、情報を共有させて頂いています。	今後の課題とします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0名	10名	相談支援員を中心に会議を開き、情報提供を行っています。	引く続き、連携を取れる体制を整え対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	10名	担当者会議で情報を交換をしています。また、随時、連絡・相談がとれる体制を整えています。	助言や研修を受ける機会を増やしていけるよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10名	現在行えていません。	今後の課題とします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	10名	現在行えていません。	今後の課題とします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5名	5名	主に送迎時に事業所やご家庭での様子、課題等、情報共有しています。	細かい部分にも目を向け、伝えていくことができるよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1名	9名	現在行えていません。	今後の課題とします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0名	10名	見学、契約時に書面及び口頭にて、わかりやすく伝えることができるよう努めています。	今後も丁寧な説明ができるよう努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1名	9名	保護者様と現状の様子や学校、デイサービス、ご家庭での情報を共有させて頂き、個別支援計画を作成し、サービスを提供しています。	保護者様のニーズに沿った支援計画書の作成に努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2名	8名	保護者様に個別支援計画書の内容を確認し、同意を得ています。	取り扱う内容等、わかりやすく説明ができるよう努めます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	1名	9名	相談があった場合、職員間で意見を出し合ったり、相談支援員とも話をし対応しています。	あらゆる状況に対応していけるようスキルアップに努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0名	10名	現在行えていません。	今後の課題とします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5名	5名	苦情があった場合、責任者や管理者、上司に連絡後、対応しています。	引き続き、迅速に対応していけるように努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5名	5名	・連絡に関しては、メールや電話、連絡ノート等での連絡体制を整えています。 ・活動に関してはボーボー通信、活動だより、ホームページにて情報を発信しています。	活動について、より周知して頂けるよう月に一度、活動状況等の情報を更新していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6名	4名	個人情報の取扱いについて全職員で共通理解を持ち、十分注意しています。	今後も意識を持って、業務にあたれるよう努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4名	6名	メールや連絡ノート、スケジュール表を使用し対応しています。	お子様の様子について細かいところまで伝えていけるよう努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0名	10名	現在行えていません。	今後の課題とします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5名	5名	各マニュアルを作成し、全職員がいつでも見れるようにしています。年間計画を立て、計画に沿って研修を行い、全職員が共通理解をもてるようにしています。	保護者様には送迎時や活動だよりにてお知らせをしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5名	5名	業務継続計画を作成しています。年に2回、非常災害に対してあらゆるシミュレーションを想定し、避難訓練を行っています。	引き続き、色々な災害を踏まえ訓練をしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4名	6名	保護者様とお子様の状況を確認して、情報を共有し対応しています。	引き続き、最新の情報を共有し、対応していけるよう取り組みます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2名	8名	保護者様と情報を共有し対応しています。	引き続き、最新の情報を共有していけるよう取り組みます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4名	6名	安全計画を作成し、年間計画に基づいて研修や訓練を行っています。	あらゆる状況を想定し、研修や訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4名	6名		伝えきれていない部分もあるため、全保護者様にも周知して頂けるよう取り組みます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5名	5名	ヒヤリハットを共有して、再発防止や事故を防いでいます。	随時、注意点等、内容を追加していきます。全職員が情報共有し支援の改善につなげていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7名	3名	虐待防止委員会を設置しています。年に2回研修を実施し、意識を統一しています。	引き続き、社内での虐待委員会を中心に事業所で虐待防止研修を行います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3名	7名	現在、身体拘束を必要とする利用者様はいません。身体拘束が必要かどうか契約時に要確認しています。身体拘束適正化委員会を設置し、研修を行い、意識統一しています。	必要な方には、話し合いのもとしっかりとした対応ができるように要検討します。